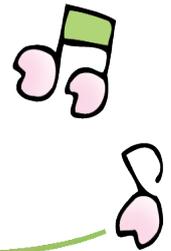




# 道徳だより

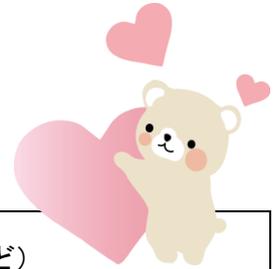


日頃より、条南小学校の教育活動において、ご理解、ご協力をいただきましてありがとうございます。今年度も、道徳だよりを通して保護者の皆様に学校内での取り組みや道徳の授業についてお知らせしていきたいと思っております。

今年度から小学校において、道徳が教科となりました。「何が大切か」「どうすることが望ましいのか」を押し付けるのではなく、「どのようなわけで大切なのか」「どうすることが考えられるのか」、自分自身を見つめて考えることが大切です。自分の本音と向き合い、学んだことを普段の生活で実践しようとする意欲を高めることができるような道徳をめざしていきます。

## ☆道徳の授業では…

道徳の授業では、**4つの心（ハート）**について学んでいきます。



- |                   |                                  |
|-------------------|----------------------------------|
| ① <b>自分ハート</b>    | 自分自身を律する心（善悪の判断、正直、勇気など）         |
| ② <b>かかわりハート</b>  | 人とのつながりを大切に作る心（親切、感謝、礼儀など）       |
| ③ <b>社会ハート</b>    | 社会のきまりやルールを守ろうとする心（規則の尊重、勤労など）   |
| ④ <b>生命・自然ハート</b> | 自然などのすばらしいものに感動する心（生命の尊さ、自然愛護など） |

道徳的価値である「親切」や「善悪の判断」などの内容を通して、自分のことを見つめたり、お互いの考えを話し合ったりします。一人ひとりの心（考え方や思い）は違うため、道徳の時間に間違った答えはありません。授業の最後のふり返りで、「自分はどうだったかな」、「こんな行動をするのもいいな」などの考えや思いをもち、これからの自分の生き方を見つめ直していく、これが道徳の時間です。

## ☆教科化によって変わること

### 1. 検定教科書の使用

今年度より新しい検定教科書である『新しい道徳』を使用して学習を進めていきます。

### 2. 評価の充実

教科化に伴い、道徳でも評価を行います。他教科のように、数値による評価ではなく、授業を通して育んだ子ども達の心や成長の様子を継続的に見て、その様子を記述式で評価していきます。

## ☆授業のようす 3年生「いいち、にいつ、いいち、にいつ」

**ねらい** どんな友だちとでも理解し合おうとし、助け合っていこうとする態度を養う。

主人公ちえは、運動会で足の遅いあいちゃんと組んで二人三脚をすることになりました。初めのうちは、あいちゃんと組むのを嫌がっていたちえでしたが、練習を重ね、本番であいちゃんのかげ声に合わせて走ったことで、二人の心が通い合い、一位になることができたという内容です。相手を信頼し、お互いに助け合い、励まし合いながら互いに成長していこうとする態度を育てるための教材です。

体育の授業で二人三脚をした映像を最初に見ました。「息を合わせるのが難しかった」と自分たちの経験をもとにした考えが出ました。



授業では、「道徳ノート」を活用しています。自分の考えや友だちの考えなどを積み重ねて、学びをつなげています。



ペアやグループなどでの話し合いでは、どうしてそう思ったのか理由も伝え合います。自分と違った友達の意見もしっかりと聞いています。

### <子ども達の考えや思い>

- ・ちえは、「あいちゃん、声をかけてくれてありがとう。」という気持ちだと思います。
- ・2人が心を合わせて、本番になるまでに何回も何回も練習したからゴールできたんだと思います。2人はもっと友だちになったと思います。
- ・2人の息がぴったりと合ったからゴールできたと思います。もし、ちえとあいちゃんじゃなかったら、1いになれなかったと思います。

**助け合うこと、協力すること、友達の大切さを実感できました。**

ご家庭でも機会がありましたら、教材を読んでお子さんと話をさせていただき、コミュニケーションのきっかけとしていただけると幸いです。

道徳教育を通して、子どもたちの豊かな心の成長につながるよう、学校と家庭が連携して子どもたちの温かい心の育成をめざしましょう。